

40

秘
秘

内閣情報部二・一八 情報第一四號

— ニューヨーク・タイムス「日本軍の蠻行」を翻ふ —

— 同盟來電 — 不發表

ニューヨーク十八日發

ニューヨーク・タイムス紙南京特派員テイルマン・ダーデイン氏は十八日南京から上海に歸還したが、南京の市内に於ける日本兵の行動につき、左の如く報じてゐる

「南京占領に當つて日本兵は殘虐と蠻行の限りを盡した、日本兵は上官の面前で金錢と言はず、書品と言はず、欲しいものは何でも掠奪して憚らない有様だ、多數支那人住民が第三國人に語る所によると、日本兵は支那人の既婚、未婚の婦人を誘拐、強姦してゐると言ふ話で、捕虜は勿論一人前の男はすべて容赦なく虐殺されてゐると言はれる」

極秘

内閣情報部二・一八

情報部一三號

上海ロイテル支那放送電報(十七日)

上海(XRU)發

上海十七日發

本日川越大使は記者團との會見に於て次の如く語つた

「日本軍の南京占領によつて支那の抵抗力が盡きたと見るのは誤謬である、蔣介石が戦闘續行の決意を表明したことによつても戦闘状態の繼續は豫想されてゐる、北京に於ける臨時政府と同様の動きは中支、南支に於ても起るかも知れない、臨時政府行政委員長に王克敏氏を得たことは正に「適材適所」といふべきであらう

パネー號事件は問もなく友好的に解決されることと信ずる、米國政府は本事件に就いて示された日本の誠意を諒解した様である

日支紛争については未だどの第三國も調停乗出を申出てゐない、只僅かにトラウトマン獨大使によつて此の方向に向つて聊かなされたことがあるだけである、但しトラウトマン氏は直接自分と接觸したことはない、英國の紛争調停乗出は問題外である」

内閣情報部二・一八

情報部一四號